

— 技術に真面目に向き合う熱き情熱集団、それが我が社です —
柴田工事調査 株式会社

所在地：〒012-0801 秋田県湯沢市岩崎字南五条 61-1
 TEL：0183-73-7171
 FAX：0183-72-5133
 URL：http://www.shibata-k.co.jp/
 従業員：93名
 設立年：1968年
 代表者：代表取締役 柴田昌英



本社社屋



創立40周年記念祝賀会(平成25年)



外部研究集会での技術発表



毎年恒例となっている社内発表会



社内実習



社外清掃



本格運用するマルチコプター



マルチコプターのテスト飛行



河川・砂防分野/ダブルウォールえん堤



河川・砂防分野/砂防基礎調査



維持管理分野/橋梁点検車による調査

沿革・会社概要

当社は昭和43年に「柴田工事調査事務所」として創設され、昭和48年に現在の名称「柴田工事調査」となりました。当初は測量会社として営業しておりましたが、昭和59年に補償コンサルタント業の登録、昭和60年に地質調査業、平成3年には建設コンサルタント登録を行い、地域の総合建設コンサルタントとして現在もさらなる技術力向上に向け、社員一同努力しています。

現在当社は、温泉やジオパークなどの豊かな自然と、小野小町の伝説や佐竹南家の城下町としての歴史がある秋田県南部の湯沢市に本社を置き、秋田市、横手市、仙台市、東京都に支店、その他秋田県内4箇所に営業所を構えています。

会社の理念

「時代に即応した洞察力を養い、技術革新と技術力向上に努め、顧客の要求を満たし豊かな地域社会づくりに貢献します」

これが当社の基本理念です。この理念を具現化するため、社員一人一人が自ら考え継続的な自己研鑽に日々努力しております。

時代に即応した洞察力

価値観が多様化した現代社会のニーズに応えるには、幅広い視野と深い見識を持つことが不可欠です。そのため当社は通常の業務のほか社外活動にも積極的に取り組んでおり、技術発表への参加や外部講習への講師派遣を通じて、社会とのコミュニケーションを密にとっています。また、社員の技術士やRCCM等の公的資格の取得支援に力を入れています。

技術革新と技術力向上

技術は常に進歩することから、社員間で切磋琢磨できる取り組みを行っています。また、これらの取り組みは技術系社員だけでなく、事務系社員も含めた全社員を対象としており、これまで培った幾多の経験やノウハウをしっかりと受け継いでいく体制を構築しています。

その具体例として、毎年春に開催する「社内技術発表会」や「資格取得発表会」があります。これらは技術力の水平展開だけでなく、若手社員のプレゼン力向上にも役立っています。さらに、社内勉強会として、自部門の技術を他部門の社員に講習する(例えば測量実習など)取り組みもしており、技術の基本から新しい情報

まで、常に触れ合うことのできる環境づくりに励んでいます。

豊かな地域社会づくり

当社は地域に根差す地元密着企業として、安心・安全のインフラ整備関連業務のほか、地域貢献活動も重要な企業の責務と考えています。地域貢献活動の一環として、毎年春と秋の年2回社員総出で社屋周辺地区の清掃活動を行っています。

建設コンサルタント業務

当社は道路・橋梁、河川・砂防から、下水道、農業土木、森林土木、都市地方計画のほか、最近社会的関心が高まっているインフラの老朽化に対応するための点検・維持業務まで、幅広く取り組んでいます。また、社内では総合コンサルタントとして多様な人材が多く在籍している強みを発揮するため、各専門技術者を同一フロアに配置して、俯瞰的かつ複眼的な視点から検討を進める工夫をしています。

建設コンサルタント業務以外

◆補償コンサルタント業務

震災復興関連事業や地域開発等の公共事業を円滑に進めるためのサポートを行っています。

◆測量業務

測量会社として築いた確かな測量技術に加え、GIS、三次元化等のデジタル技術活用にも積極的に取り組んでいます。

◆地質調査業務

地表地質踏査、ボーリング調査、各種試験、地盤解析のほか、地下水や動植物の生態系などの環境調査も行っています。

◆新技術の紹介

当社は、大規模地震や集中豪雨に伴う斜面崩壊など災害現場などの調査・測量に活用するため、無線ヘリ(マルチコプター)を導入しました。このマルチコプターはカメラを搭載した無線操縦の小型ヘリコプターで、撮影した写真を専用ソフトで画像処理して立体画像化することができ、人の立ち入りが困難な災害現場や構造物の維持管理業務へ活用を計画しています。

(文：代表取締役社長 柴田昌英)